

NY マーケットレポート (2019年3月21日)

2019年3月21日 (木)

アジア主要株価	終値	前日比	年初来%	外国為替	終値	高値	安値
日経平均	休 場		#VALUE!	USD/JPY	110.82	110.96	110.30
ハンセン指数	29071.56	-249.41	12.48%	EUR/JPY	125.99	126.60	125.69
上海総合	3101.46	+10.81	24.36%	GBP/JPY	145.19	146.40	144.14
韓国総合	2184.88	+7.78	7.05%	AUD/JPY	78.80	79.35	78.59
豪ASX200	6167.17	+1.82	9.22%	NZD/JPY	76.19	76.78	76.01
インドSENSEX	休 場		#VALUE!	EUR/USD	1.1369	1.1438	1.1342

*インド市場はHoliで休場

欧州主要株価	終値	前日比	年初来%	コモディティ	終値	前日比	年初来%
英FT100	7355.31	+64.30	9.32%	NY GOLD	1307.30	+5.60	2.0%
仏CAC40	5378.85	-3.81	13.70%	NY 原油	59.98	-0.25	32.1%
独DAX	11549.96	-53.93	9.39%	CBOTコーン	376.25	+4.75	0.3%
スペインIBX35	9355.60	-50.00	9.55%	CRB指数	185.374	-0.229	9.2%
イタリアFTSE MIB	21373.06	+42.85	16.64%	ドル指数先物	96.344	+0.583	0.3%
南ア全株指数	休 場		#VALUE!	VIX指数	13.63	-0.28	-46.4%

*南ア市場はHuman Rights Dayで休場

米国主要株価	終値	前日比	年初来%	Crypto Currency	本 日	前 日
米ダウ平均	25962.51	+216.84	11.30%	CBOE Bitcoin(先物・期近)	3970	4020
S&P500	2854.88	+30.65	13.88%	CME Bitcoin(先物・期近)	3965	4015
NASDAQ	7838.96	+109.99	18.14%	Ripple (BSTP)	0.309	0.315
南北米主要株価	終値	前日比	年初来%	Ethereum (BSTP)	135.11	137.74
トロント総合	16244.59	+77.03	13.42%	Bitcoin Cash	152.68	157.34
ボルサ指数	43251.19	+94.98	3.87%			
ボベスパ指数	96729.08	-1312.29	10.06%			

x一部暫定値

3/22 経済指標スケジュール

08:30	【日本】2月全国消費者物価指数
08:50	【日本】3月対内外証券投資
14:00	【日本】1月景気一致CI指数
14:00	【日本】1月景気先行CI指数
14:00	【日本】2月全国スーパー売上高
14:00	【日本】2月全国百貨店売上高
14:00	【日本】2月東京地区百貨店売上高
16:45	【フランス】4Q賃金
17:15	~18:00
	【仏】【独】【欧】3月製造業PMI・非製造業PMI
17:30	【香港】4Q經常収支
18:00	【欧州】1月經常収支
21:30	【カナダ】1月小売売上高
21:30	【カナダ】2月消費者物価指数
22:00	【ポーランド】2月マネーサプライM3
22:45	【米国】3月製造業PMI
22:45	【米国】3月非製造業PMI
23:00	【米国】2月中古住宅販売件数
23:00	【米国】1月卸売在庫
23:00	【米国】1月卸売売上高
03:00	【米国】2月財政収支

日本国債利回り	本 日	前 日
2年債	休 場	-0.157%
5年債	休 場	-0.162%
10年債	休 場	-0.036%
30年債	休 場	0.573%
欧州国債利回り		
ドイツ10年債	0.041%	0.084%
英国 10年債	1.064%	1.157%
フランス 10年債	0.400%	0.460%
米国債利回り		
2年債	2.408%	2.396%
3年債	2.342%	2.334%
5年債	2.341%	2.328%
7年債	2.436%	2.424%
10年債	2.537%	2.526%
30年債	2.967%	2.971%

3/22 主要会議・講演・その他予定

・アトランタ連銀総裁 講演

NY 市場レポート

◀ NY 市場概況 ▶

NY 市場では、欧州株や米株値先物の下落、さらに米 10 年債利回りの低下を受けて、ドル円・クロス円は序盤から軟調な動きとなった。しかし、発表された米経済指標が軒並み予想より改善したことや、低下していた米 10 年債利回りが上昇したことを受けて、ドル買い・円売りが優勢となり、ドル/円は一時 110.96 まで上昇した。また、序盤下落した株価が堅調な動きとなったことも押し上げ要因となった。一方、英国の EU 離脱に関する不透明感が依然として強いことから、ポンドは主要通貨に対して軟調な動きとなったが、EU 大統領が条件付きで 5/22 までの離脱延期を提案したとの報道を受けて、ポンド売りが後退した。

FOMC (日本時間 21 日午前 3 時)

FOMC 政策金利 2.25%-2.50% (予想 2.25%-2.50%・前回 2.25%-2.50%)

- ・今年は利上げなし、2020 年に 1 回の見通しを示唆
- ・保有資産の縮小を減速へ、9 月末に停止の見通し
- ・経済成長は減速した

日本時間 3/21 午前 3 時に発表された FOMC で、今年の上昇回数の予想をゼロに引き下げた（12 月時点は、今年 2 回の予想）ことが影響し、ドルは主要 10 通貨に対して下落した。ドル/円は直前の 111.50 から 110.53 まで下落した。



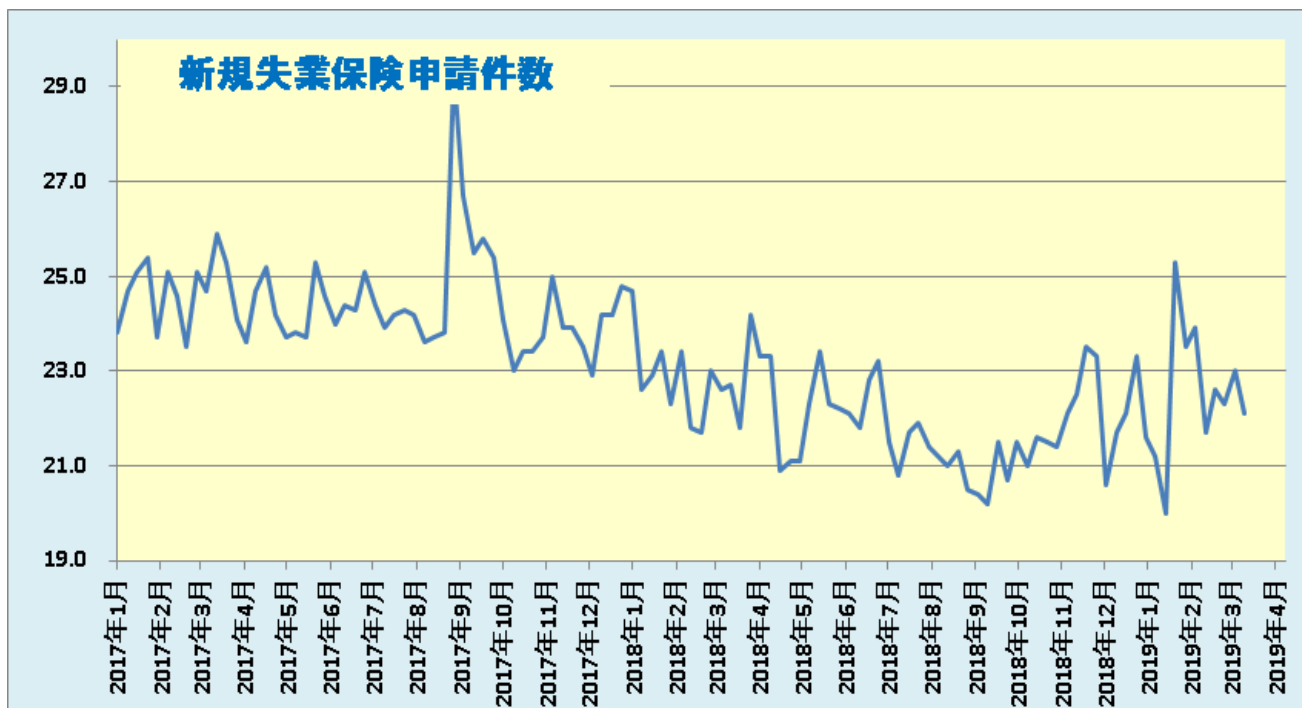
出所：総合分析チャート

主要な米経済指標結果

新規失業保険申請件数 22.1 万件（予想 22.5 万件・前回 22.9 万件⇒23.0 万件）

失業保険継続受給者数 175.0 万人（予想 176.8 万人・前回 177.6 万人⇒177.7 万件）

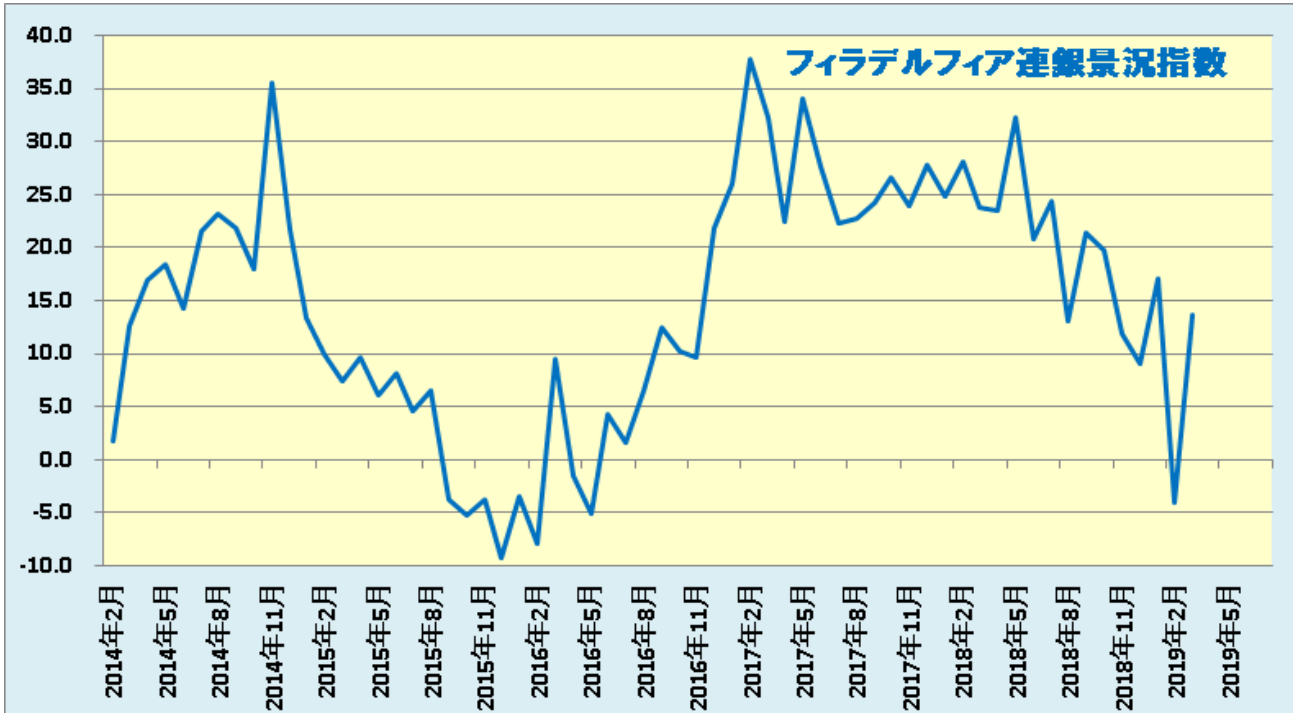
米失業保険申請件数は、市場予想を下回る前週比-0.9 万件となり、4 週ぶりの低水準となった。労働市場の流れをより正確に反映するとされる申請件数の 4 週移動平均は、前週比+0.1 万件的 22.5 万件だった。集計が 1 週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比-2.7 万件的 175.0 万人となった。受給者数の 4 週移動平均は、前週比+0.6 万件的 177 万 2500 人だった。



データを基に SBILM が作成

3 月フィラデルフィア連銀景況指数 13.7 (予想 5.0・前回 -4.1)

3 月の米フィラデルフィア連銀業況指数は、市場予想を大きく上回る+13.7 となり、2016 年 5 月以来のマイナスとなった前月から改善した。統計データを見ると、新規受注が 1.9 (前月-2.4)、出荷が 20.0 (-5.3)、と前月から上昇したものの、受注残は 3.1 (6.9)、仕入価格が 19.7 (前月 21.8)、販売価格は 24.7 (27.7)、雇用者数は 9.6 (14.5) と前月から低下した。また、6 ヶ月予測でも、業況が 21.8 (前月 31.3)、設備投資が 19.5 (31.7) と低下している。

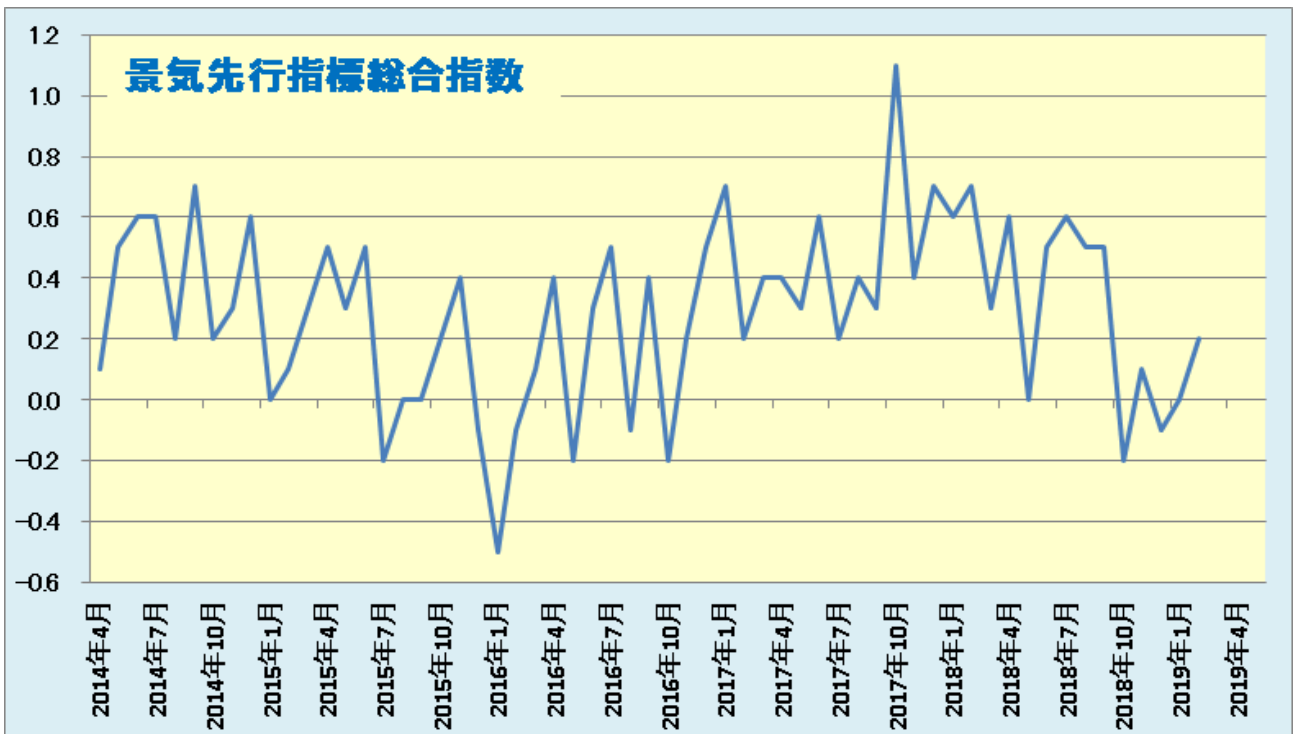


データを基に SBILM が作成

2月景気先行指標総合指数（前月比） 0.2%（予想 0.1%・前回 -0.1%）

2月景気先行指標総合指数は、市場予想を上回り、2ヵ月連続の上昇となり、5ヵ月ぶりにプラスに転じた。

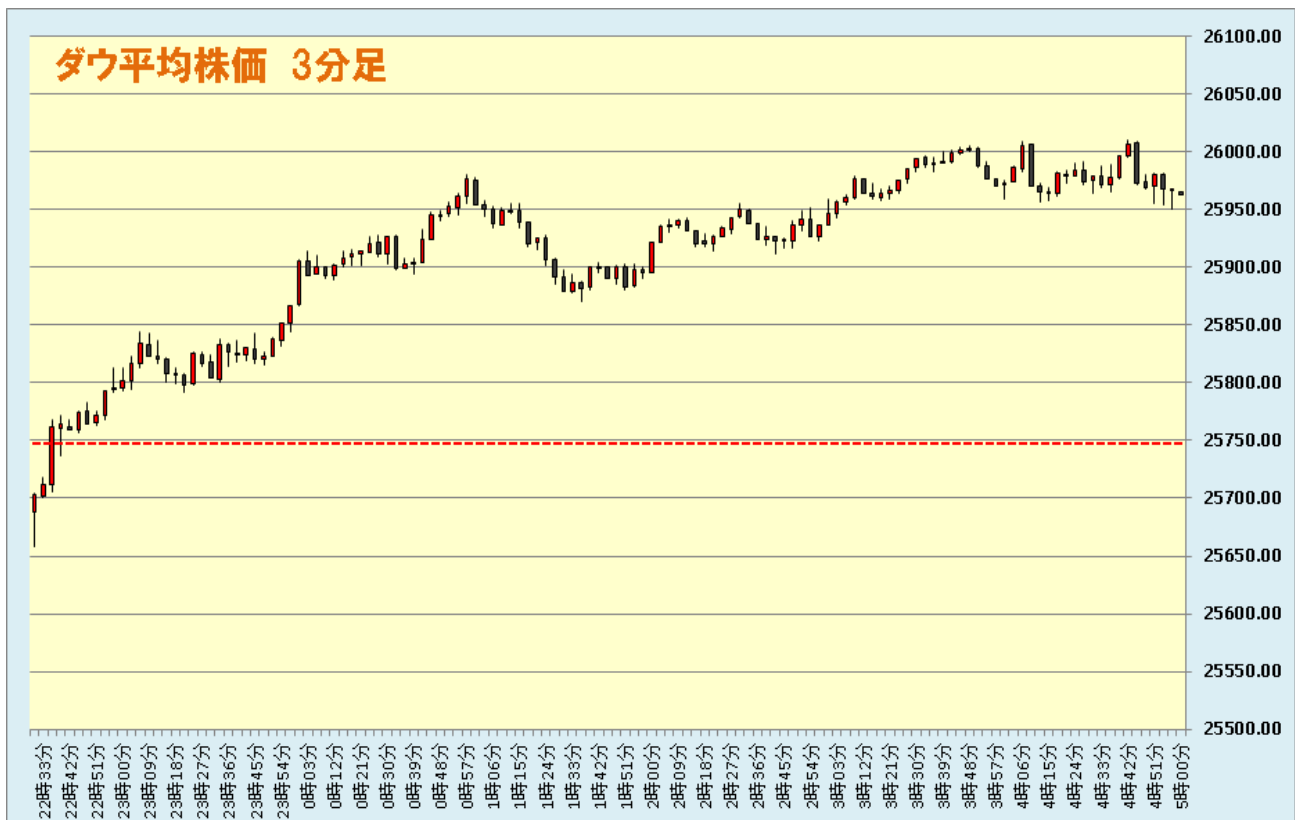
統計データを見ると、2月は消費者期待度の上昇やS&P株価指数の上昇が全体を押し上げる要因となった。



データを基に SBILM が作成

ダウ平均は3営業日ぶりに反発、ナスダックは5営業日続伸

米株式市場は、FOMC で年内は利上げをしない考えが示されたことが引き続き材料視され、低金利が続いて米景気が下支えられるとの期待を背景に、主要株価指数は堅調な動きとなった。さらに、米金融機関による投資判断が引き上げられたことで、電子機器大手の株価上昇も押し上げ要因となった。ダウ平均株価は、序盤87ドル安まで下落したものの、その後はプラスに転じて堅調な動きが続き、終盤に前日比264ドル高まで上昇した。引けにかけては上げ幅を縮小し、216ドル高で終了した。一方、ナスダックは1.4%上昇の109ポイント高で終了し、5営業日続伸となった。



データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	テクノロジー	2.35%	1	アップル	3.68%
2	素材	1.65%	2	トラベラーズ	2.31%
3	通信サービス	1.08%	3	マイクロソフト	2.30%
4	消費材	0.88%	4	ホーム・デポ	2.08%
5	消費者サービス	0.80%	5	ダウ・デュボン	1.65%

データを基に SBILM が作成

ドル/円は約 1 ヶ月ぶりの安値から反発

欧州主要株価指数が下落したことや、米ダウ先物が 6 日ぶりの安値を付けたこと、さらに米 10 年債利回りが昨年 1 月以来の低水準となったことが影響し、ドル円・クロス円は序盤から軟調な動きとなり、ドル/円は欧州タイムに続き再び 110.30 台まで下落した。その後は、新規失業保険申請件数、フィラデルフィア連銀製造業指数が予想より改善したこと、また景気先行指数も市場予想を上回り、5 ヶ月ぶりの高水準となったことを受けて、ドルは堅調な動きとなった。さらに、2.497%まで低下していた米 10 年債利回りが 2.542%まで上昇したことや、序盤下落した株価が堅調な動きとなったことから、ドル買い・円売りが優勢となり、ドル/円は 110.96 まで上昇した。一方、英国の EU 離脱に関する不透明感が依然として強いことから、ポンドはドルや円など主要通貨に対して軟調な動きとなった。ポンド/円は、一時約 2 週間ぶりの安値となる 144.14 まで下落した。その後、EU 大統領が条件付きで 5/22 までの離脱延期を提案したとの報道を受けて、ポンド売りが後退した。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。